

PLUS ULTRA

～さらに向こうへ～

6学年
第19号
令和3年12月6日

絆～つなぐ～学習発表会！

11月28日に学習発表会を行いました。小学校生活最後の発表会を成功させようと練習を頑張ってきました。狂言「附子」をみんなで演じました。狂言独特の言い方、表情の工夫、しぐさ等、難しいこともありましたが、みんなでやり切ることができました。本番では、これまでに一番の演技ができたと思います。

6年生の皆さん、最高学年として、一生懸命頑張った学習発表会。テーマのようにそれぞれの力を繋ぎ素敵な劇をすることができましたね。これから残りわずかな小学校生活を楽しみ、頑張ってください。

保護者の皆様、ご協力、ご参加ありがとうございました。



ドキン、ドキン。心臓の音が体全身へと伝わる。ふうつと深呼吸をする。僕の体が熱くなるのを感じる。胸を二回たたいた。やるぞ。そんな気持ちが湧いてきた。でもそれと同時に緊張も全身をめぐる。自分の番が来た。最高学年として自分が頑張るんだ。そう決意し、一歩踏み出した。自分の声が体育館に響いた。

「ただいま……この大きな声、悠人君だ。とても大きな声。悠人君の気持ちが十分に伝わる。」

小学校最後の学習発表会の幕が閉じた。幕がおりた途端、みんなの笑顔が広がった。とてもうれしそうみんなの顔だ。

だが、まだ終わっていない。音楽クラブの発表がある。しっかりと吹けるだろうか。少し、心配な気持ちがよぎる。でも、これまでの練習を思い出し、もう一度気持ちに火がついた。みんなの前で。視線が集まる。緊張が止まらない。でも、トランペット、打楽器の音が重なり合い、きれいな音色に。演奏はなんだかあつという間に感じた。

狂言「附子」、音楽クラブこの二つは僕の大切な思い出だ。最後まで全力を出してやり切れた。後悔はない。みんなででき、保護者の方、地域の方に見ていただけた学習発表会、音楽クラブ。いつまでも続いてほしい。

(吉浦 歩)



練習の時から、難しいと感じていた。狂言独特の抑揚だ。その抑揚をうまくするために、音読もがんばった。少しずつ抑揚もよくなってきた。

いよいよ本番。とても緊張する。たくさんの方がいる。みんなで合わせる部分は大丈夫だろうか。間違えたらどうしよう。不安なことが思い浮かぶ。でも、頑張ろう。やり切ろうと本番に臨んだ。

あつという間に自分の番が来た。歩君と日鞠ちゃんが座った。よし、いくぞ。

一つ目のセリフ。

「ただいま、帰ってこられる。」

この一言を出すのに、とても緊張した。でも、精一杯がんばることが一番。成功させた。そう思っって声を出した。

練習中、大きな声でも抑揚がなく、うまく言えなかったセリフもあった。でも、頑張っ言えるようになった。これまでの練習があったから、本番も頑張れた。

どんな練習をしていけばいいかを考え工夫した学習発表会。とてもいい経験ができた。みんなで頑張ったよい発表会だった。

(唐木田 悠人)

